



我が家の防災・大地震への備え (1)

2020年6月吉日
発行 富士が丘防災部会
後援 富士小校区まちづくり
推進協議会

今後10年以内に発生する確率が20~30%、50年以内が90%以上と言われている海溝型地震の「南海トラフ巨大地震」が起こると、三田市で最大震度5強。また、三田市周辺には内陸直下型地震を引き起こす「有馬 - 高槻断層帯」、「六甲・淡路島断層帯」、「山崎断層帯」が分布しており、地震が起これば最大震度6弱~5強の揺れが想定されています。

地震に備えて、**自分や家族の安全を守る為**に健全な危機感を持って、出来ることをやりましょう！！

◆◆自宅の安全を見直そう◆◆

大地震の場合、倒れた家具の下敷きになって大ケガをしたり、命に関わる事態にもなり得ます。また、窓ガラスや食器棚のガラス・食器などは割れて鋭い破片となり大変危険です。身近なところから安全を見直しましょう。



(1)家具の転倒・落下の防止

- ・本棚・食器棚などは、転倒防止ストッパー、L字金具・突っ張りポール・ベルト・チェーンなどで固定する
- ・寝室には家具を置かない。置く場合は、**倒れても安全な向**に配置する
- ・突っ張りポールは、**奥側に設置し、上部は当て板で補強**する
- ・重い物は下の段、軽い物は上の段に収納する (**重心を下に**)
- ・扉の無い棚には**落下防止ロープ**などを張る
- ・転倒防止ストッパーや段ボールで**手前側を少し高く**する



(2) ガラスの飛散防止

- ・窓や戸棚や額縁などのガラスに**飛散防止フィルム**を貼る
- ・扉や引き出しには**ストッパー付の金具**を設置する



(3) 感震ブレーカーの設置

- ・外出や旅行などで**留守時の地震に備えて**、電気火災防止のために、感震ブレーカーを設置する
停電復旧後の再通電による、電気火災防止に効果的です
- ・分電盤タイプ・コンセントタイプ・簡易タイプ（工事不要）がある



参考：家具転倒防止の金具やガラス飛散防止フィルム、感震ブレーカーは、ホームセンターなどで購入できます。

防災便りは、富士が丘ポータルサイト（☞ 「富士が丘」で検索）にも掲載しています。

<http://sanda-fujigaoka.com/2016/12/03/5802#tayori>

◆南海トラフに起因する地震の発生状況

発生年	地震の規模	南海地震	東南海地震	東海地震	発生間隔など	備考
1361 (正平)	?	●	●	●		南海トラフ地震は三連動が特徴。
1498 (明応)	M8.4	●	●	●	137年、三連動	
1605 (慶長)	M7.9	?	?	?	107年、?	M8級が100～200年周期で発生。
1707 (宝永)	M8.6	●	●	●	102年、三連動、富士山噴火	
1854 (安政)	M8.4	●	●	●	147年、三連動	現在、空白期間は昭和南海地震から74年、安政東海地震から166年。
1944 (昭和)	M7.9		●		90年、最初に東南海地震、	
1946 (昭和)	M8.0	●			2年後に南海地震	
20xx年	M8～M9	●	●	●	三連動の可能性が大	

◆つぶやき◆

阪神・淡路大震災から25年、東日本大震災から9年、月日の経過は防災への意識を風化させます。災害を未然に防ぐことは出来ませんが、備えをすることで**“減災”**は出来ます。日ごろの備えこそ最大の防御であることを信じて、自分や家族の**自助**、**近隣との共助（近助）**に活かしたいものです。☞ **備えあれば憂いなし**

コロナウイルスの感染拡大が懸念される状況の中、防災活動も停滞中ですが、2年ぶりに防災便りを再開しました。今後毎月1回**「保存版」**として全戸配布します。クリアファイルなどに綴じて保管くだされば幸いです。(m.y)

